

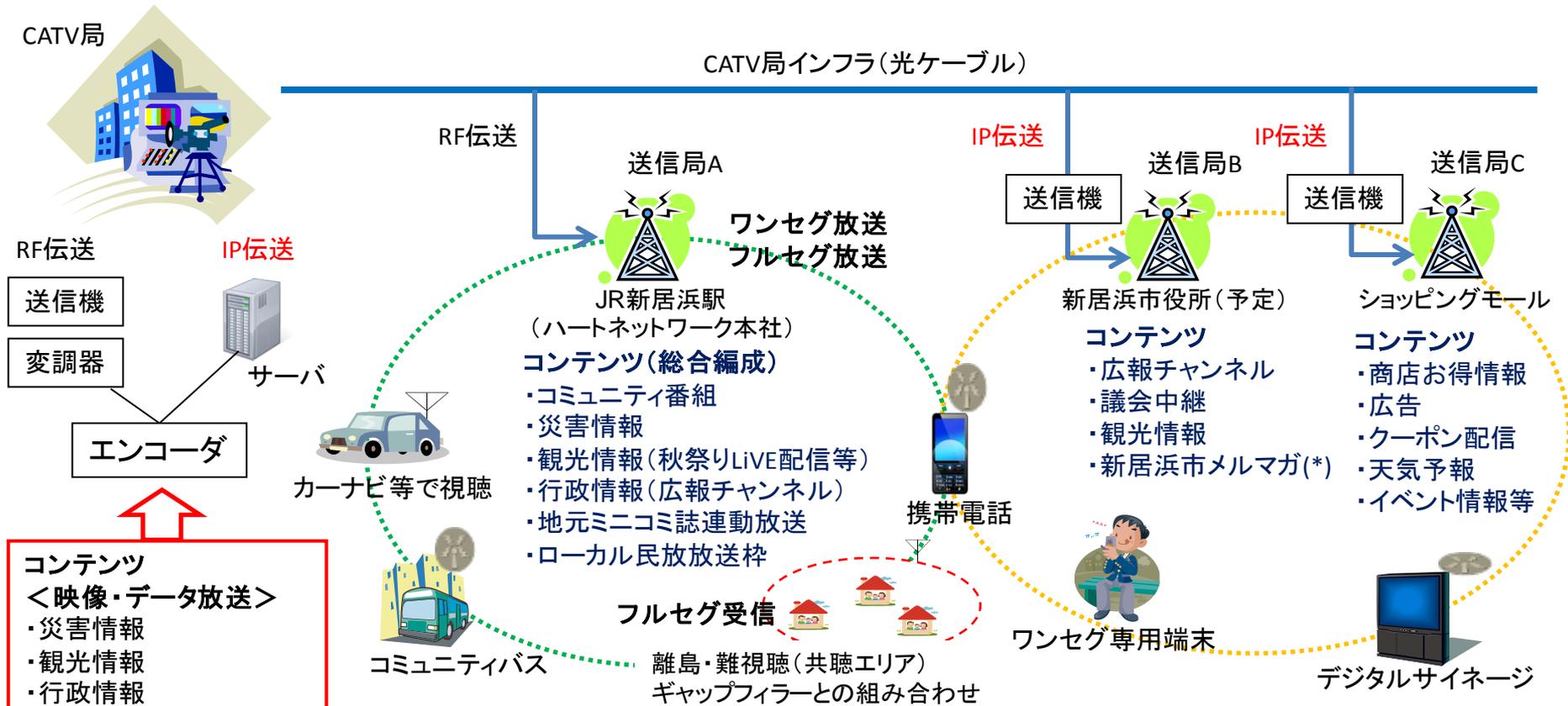
CATV網を活用した地域ワンセグ放送

平成22年9月10日

社団法人 日本ケーブルテレビ連盟

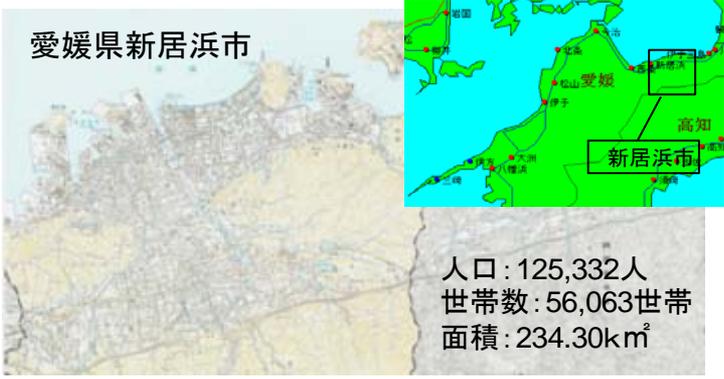
株式会社ハートネットワーク

地域ワンセグサービスイメージ



- コンテンツ**
<映像・データ放送>
- ・災害情報
 - ・観光情報
 - ・行政情報
 - ・交通情報
 - ・コミュニティ情報
 - ・地域スポーツ・祭り中継
 - ・商店街情報
 - ・イベント情報等

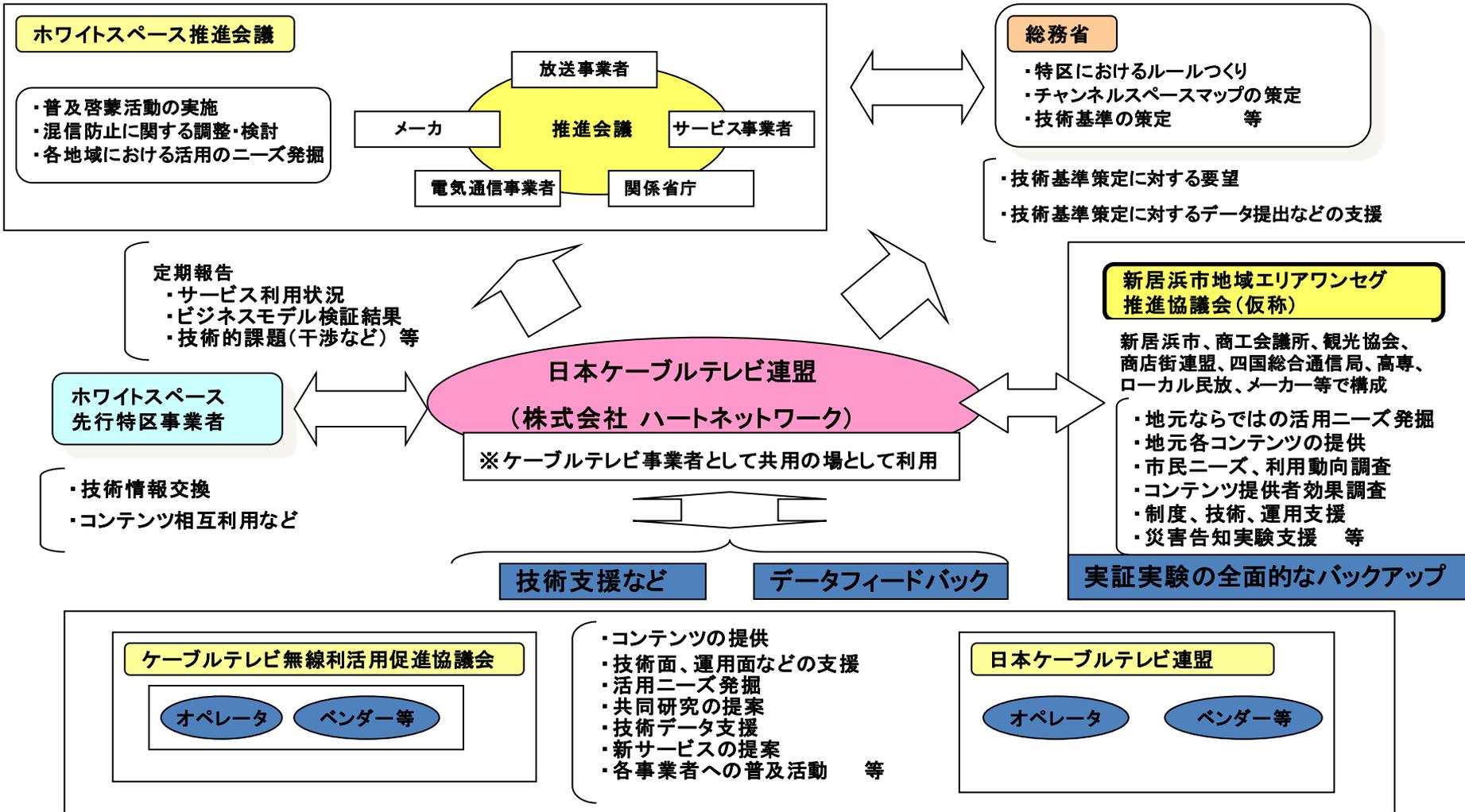
(*)新居浜市メルマガ
新居浜市が登録者にメールで
配信する情報
防災・災害・防犯・不審者・
健康・子育て・イベント・観光
市議会等の情報



株式会社ハートネットワークのシステム概要

サービスエリア: 愛媛県新居浜市全域、西条市の一部
対象世帯数: 69,965世帯
ケーブルテレビ接続世帯数: 28,000世帯
WiMAX接続世帯数: 2,000世帯
自主制作チャンネル: アナログ4チャンネル
デジタル4チャンネル
(内2チャンネルHD放送)
(平成22年8月現在)

ホワイトスペース先行特区における体制ならびにスケジュールについて



<スケジュール>

ステップ1(開始～18カ月)

ステップ2(19カ月～24カ月)

ステップ3(25カ月～)

準備期間
3カ月

- ・基地局の設置(3か所)
- ・各基地局から情報配信
- ・BML技術者等の雇用及び教育開始

- ・収益モデルの確立
- ・地域企業の情報配信開始
- ・サービスプラットフォーム事業準備

- ・主用地区への基地局展開
- ・サービスプラットフォーム事業会社設立、事業開始

地域ワンセグ放送の実験イメージ

○実験を通じ、特に確認したい事項

【技術開発関連】

- ①技術基準の策定(混信や干渉が起きないような仕組み作り)
- ②安価な送信システムの開発(ギャップフィルターの活用など)
- ③地域ワンセグ放送を活用したデジタルサイネージ(例えば 電子掲示板)等の開発

【調査関連】

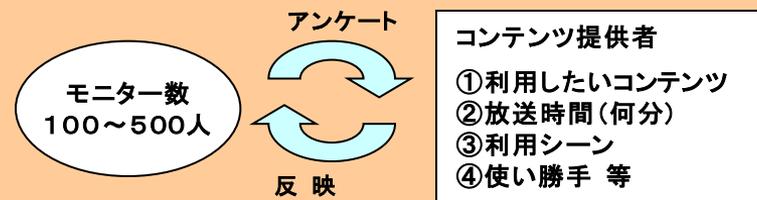
- ①ワンセグ受信できる携帯電話の機能具備などに関する対応調査、及び調査を踏まえた対応
- ②モニターを募集し、お客様が要望する情報内容、配信周期、放送時間など

【運用関連】

- ①ビジネスモデルの検討(広告収入モデルや加入者負担などのモデル検討、プラットフォームの検討など)
- ②地方自治体を中心とする地元コンテンツ提供者の募集、参加及びその評価の検証
- ③混信や干渉が生じた場合の既存放送事業者とのルール作り
- ④ケーブルテレビ事業者が保有する地域コンテンツの複数メディアへの共用利用の実証
- ⑤クーポン利用やポイントシステム等を含めた付加的サービスの実証
- ⑥ワンセグ携帯を利用しているお客さまへの普及促進のPR方法

1st STEP

- ・モニター100～500人程度で開始し、お客様の利用動向の確認
- ・地域協議会参加団体からのコンテンツ提案・提供及び開発
- ・お客様の利用動向を見つつ、徐々にコンテンツを拡大
- ・混信、干渉の調査及び技術基準の策定



2nd STEP

- ・1st STEPは引き続き実施
- ・2nd STEPでは、コンテンツ提供者の意見集約(推進協議会)
- ・ビジネスモデルの検討

